

1 総合教育センター等における研修（改）

(2) 道徳教育

ア 趣 旨

豊かな心を育む教育の充実を図る中で、道徳教育の重要性を認識し、道徳科の授業の指導案を作成することにより、指導力の向上を図る。

イ 会場

各所属校

ウ 研修内容

道徳科の授業の在り方について理解を深めるために、各受講者が栃木県総合教育センターWeb サイト内の自己研修サポートプログラム「1009_道徳科の授業の在り方」や道徳教育アーカイブ（文部科学省）、道徳科の授業に関する書籍等を参照し、教材分析、特質を生かした授業展開の構想及び指導案作成を行う。

エ 公開授業での実践

校内において道徳科の公開授業を実施する。

授業後、授業研究会等で指導法の改善などについて協議する。校内等における研修の計画に位置付け、9月から12月までの期間に行う。

（P 7「校内等における研修」、P 10「公開授業」参照）

オ 実践報告書の提出

エの実践後、公開授業（道徳科）実施報告書【様式6】を作成し、総合教育センターへ送付する。（2月末日まで）

1 総合教育センター等における研修（改）

(3) 選択研修

ア 趣 旨

主体的に各種研修や研究大会等に参加することにより、教員としての専門性や幅広い教養を身に付ける。

イ 研修期日

6月から1月までの期間の1日とする。

ウ 選定要件

(ア) 自主的・主体的に選んで参加するもので、次の機関または団体等が主催する研修や研究大会等。

- ① 栃木県総合教育センター
 - ・開催要項に示されている研修のうち、専門研修2、専門研修3、生涯学習研修より選択する。
- ② 栃木県教育委員会、各教育事務所、各市町教育委員会、各教育研究所
- ③ 宇都宮大学及び宇都宮大学共同教育学部附属幼稚園・小学校・中学校・特別支援学校
- ④ 栃木県小・中学校教育研究会
- ⑤ 栃木県連合教育会
- ⑥ 社会教育施設

(イ) 研修教員の能力、適性等の向上に役立つと校長が判断した場合、(ア)の機関または団体等以外が主催する研修も認める。ただし、原則として県内のものとする。

(ウ) 選択する研修は、半日以上のものである。研修及び研究大会等が2日以上開催される場合、全日程に参加することが条件である。なお、当センターにおける教育研究発表大会については、各部会の参加をもって選択研修とすることができる。

(エ) (ア)で指定した研修や研究大会等に参加することが難しい場合、校長等との協議の上、教育に関する書籍等により自己研修を行うことも可とする。

エ 留意点

(ア) 研修教員は、校長と協議の上、研修または研究大会等を選定する。

(イ) 総合教育センター等における研修の期日との重複を避ける。

オ 研修手続き及び報告書の提出

(ア) 研修手続きは、校長の命令を受けて、各学校が行う。

(イ) 報告書の提出については、次のとおりとする。

- ・研修教員は、「選択研修」が終了した後、「選択研修報告書」【様式3】に必要事項を記入し、校長に提出する。
 - ・校長は、研修教員から提出された「選択研修報告書」を確認し、2月末日までに、総合教育センター所長宛て（送付先：研修部）に提出する。
 - ・送付する際は、封筒に「中堅教諭等資質向上研修関係書類在中」と朱書する。
- なお、「選択研修報告書」の様式は、総合教育センターのWebサイトからダウンロードできる。

提出文書等チェックリスト（改）

提出文書等	参照様式	提出先	期限
☐ 中堅教諭等資質向上研修関係書類 送付書及び評価案 《研修前評価》	【様式１】 P 16	市町教育委員会教育長	6月末日
☐ 研修計画書案	【様式２－１】 P 17	（注）関係書類送付書及び評価表、 研修計画書案を併せて送付する。	
☐ 選択研修報告書	【様式３】 P 19	総合教育センター所長	2月末日
☐ 学校組織マネジメント実践報告書	【様式４－２】 P 21		
☐ 公開授業(教科)実施報告書	【様式５】 P 22		
☐ <u>公開授業(道徳)実施報告書</u>	【様式６】 センターWeb サイト よりダウンロード		
☐ 中堅教諭等資質向上研修関係書類 送付書及び評価表 《研修後評価》	【様式１】 P 16	市町教育委員会教育長	2月末日
☐ 研修報告書	【様式２－２】 P 18	（注）関係書類送付書及び評価表、 研修報告書を併せて送付する。	

※ 送付する際は、封筒に「中堅教諭等資質向上研修関係書類在中」と朱書してください。